

一般質問



問

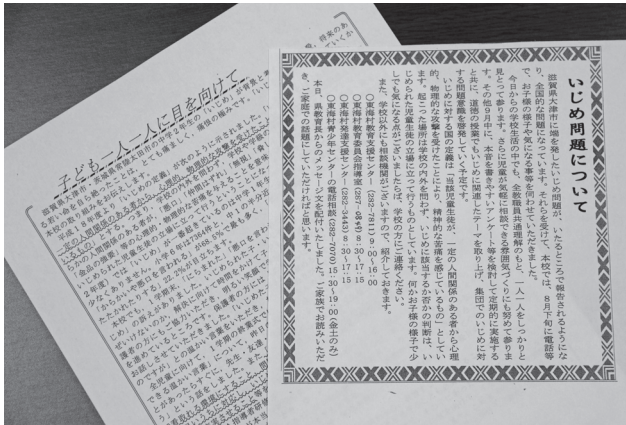
どこにでも起こり得る「いじめ」への対応は

自分が必要とされ自尊感情を育てる環境づくり

新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 いじめによる自殺事件が連鎖反応的に続く。いじめとは、当該児童が一定の人間関係の下で、心理的、物理的攻撃を受け、精神的苦痛を感じるもの、攻撃とは仲間はずれ、身体攻撃、金品のたかり等と定義され、どこでも起こり得る、被害者が加害者に加害者が被害者に代わりうる構図。いじめ問題は犯罪行為であることとを教育すべき時期。節度をはみ出す前に「人間性を育てていく教育」に時間を割き、学校や地域全体で育てていくことが必要。東海村としての今後の考えを伺う。

教育長 児童の変化の適切な把握、気になる時にはすぐに連絡、命の大切さを家庭内で話し合う等、いじめ対策を学校だよりにより周知する。おかしいと感じたらすぐに学校、教



村内の学校だよりの記事

育委員会、支援センター等に連絡し、素早く、一緒に対応できる教育環境を整備する。自分が必要とされると実感できる自尊感情を育てる環境づくりを進めていく。



問

原発審議会委員等の中立性の問題

積極的に対応いたします

光風会 照沼 昇 議員

議員 この度発足した原子力規制委員会の委員長に田中俊一氏を充てる人事案が批判されている。この原子力規制委員会は強い権限を持つため、委員長や委員の人选については中立性や透明性が重要になってくるが、東海村では、JCO事故の際より現在の原子力センター構想までご尽力いただいている田中俊一氏に、「原発推進の原子カムラの一員の起用は認められない」との批判報道については、村からの見解が寄せられるべきだと思う。東海村原子力安全対策懇談会委員の岡本孝司氏が原発推進の電気事業連合会の構成企業などから478万円の寄付金等を受け取っていたとの報道もあり、村としては適切な対応が必要である。

村長 田中氏は是々非々をわきま

